

第5章 本計画の推進方針

起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）ごとの推進方針

第4章第3節の起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）ごとの脆弱性評価結果を踏まえて、リスクシナリオを回避するために必要な推進方針を次のとおり定めました。

また、推進方針は、リスクシナリオごとに定め、計画推進による成果や施策の進捗状況を把握するため、重要業績指標（KPI）を設定しています。KPI設定に係る数値は記載のあるものを除き、現状値は令和3年度末、目標値は令和8年度末の数値です。

なお、複数のリスクシナリオにまたがる推進方針は、重複するものを整理して記載しています。

1 直接死を最大限防ぐ

リスクシナリオ	1-1 巨大地震による建物等の倒壊や火災等による多数の死傷者の発生
推進方針・主な取組	<p>●消防・救急体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消火栓や防火水槽の整備など、安定した消防水利の確保を図るとともに、西はりま消防組合と連携し、消防車両・消防資機材の更新・充実等による消防力の向上を進めます。 ○西はりま消防組合と連携し、消防救急指令システムの高度化、情報通信手段の多重化等、ICTの活用等による情報収集・伝達の向上を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>.....西はりま消防組合負担金事業（消防車両・資機材等の更新・充実）消火栓の保守点検.....</p>
	<p>●公共施設、学校等の耐震化の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難所としても活用される学校施設等を適正に維持管理するとともに、防災機能強化や老朽化対策等を行い、児童生徒や教職員の安全が確保された学校施設等の整備を推進します。 ○市営住宅の長寿命化を推進するとともに、老朽化した市営住宅について廃止撤去を進めます。 ○不特定多数の者が利用する公共建築物の適正管理と耐震化を推進するとともに、その他の公共施設についても、公共施設等総合管理計画等に基づく施設の最適化を図りながら、耐震化等、防災機能の強化を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>.....学校施設・認定こども園等の長寿命化・整備事業.....公民館大規模改修事業.....市営住宅の長寿命化・廃止撤去.....</p>

	<p>●住宅・建築物の耐震化等の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○耐震改修促進計画を策定し、住宅や不特定多数が利用する建築物の耐震化等を促進します。 ○高齢者福祉施設、障害者福祉施設、児童福祉施設等について、建築物の耐震化や危険ブロック塀の撤去等を促進します。 ○耐震化等に係る相談窓口の設置や啓発活動を行うとともに、耐震化等に取り組む者に助成することで、市民による主体的な耐震化の取組を促進します。 ○老朽化が進行し危険な状態の空き家等は、兵庫県と連携して除却等を促進します。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">簡易耐震診断推進事業.....住まいの耐震化促進事業.....空き家対策総合推進事業.....住宅相談の実施..... <p>●身を守る意識の醸成、防災情報の啓発（地震対策）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○緊急地震速報についての周知啓発やシェイクアウト訓練の実施等、市民の防災意識の高揚を図ります。 ○家具の転倒防止等、家庭での室内安全対策の普及啓発を行います。 ○学校等における児童生徒の安全確保のため、防災訓練、防災教育等を実施します。 ○一人でも多くの市民が自力で避難できるよう、健康づくりや介護予防を推進します。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">市広報誌、ホームページ等による防災意識の啓発.....自主防災組織の防災訓練実施支援.....いきいき百歳体操推進事業.....健康長寿化事業..... 																
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重要業績指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>住宅の耐震化率</td> <td>%</td> <td>(R2) 76.1</td> <td>81.6</td> </tr> <tr> <td>多数利用建築物の耐震化率</td> <td>%</td> <td>(H27) 82.0</td> <td>97.0</td> </tr> <tr> <td>65歳以上の人口のうち いきいき百歳体操参加率</td> <td>%</td> <td>10.0</td> <td>13.0</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	住宅の耐震化率	%	(R2) 76.1	81.6	多数利用建築物の耐震化率	%	(H27) 82.0	97.0	65歳以上の人口のうち いきいき百歳体操参加率	%	10.0	13.0
指標名	単位	基準値	目標値														
住宅の耐震化率	%	(R2) 76.1	81.6														
多数利用建築物の耐震化率	%	(H27) 82.0	97.0														
65歳以上の人口のうち いきいき百歳体操参加率	%	10.0	13.0														

リスクシナリオ	1-2 広域にわたる大規模津波等による多数の死傷者の発生
推進方針・主な取組	<p>●堤防・護岸・水門等の海岸保全施設等の整備</p> <p>○兵庫県と連携して、防潮堤等の高さが不足し、浸水する個所については、防潮堤等の整備を推進します。</p> <p>○津波発生時に陸閘等を迅速かつ確実に閉鎖するため、施設の自動化・遠隔操作化・電動化を推進します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>..... 河川・海岸施設等の整備及び耐震化</p> <p>..... 海岸堤防等老朽化対策事業</p> <p>..... 護岸開口部の閉鎖・閉塞対策及び陸閘の改修</p>
	<p>●避難体制の確保・訓練の実施</p> <p>○避難指示等の防災情報について、防災行政無線や市ホームページ、市SNS、たつの防災ネットなどを活用し、市民への積極的な広報を行います。</p> <p>○兵庫県が実施する津波一斉避難訓練について、積極的な参加を促進します。</p> <p>○各地域で実施される防災訓練への積極的な参加を促進します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>..... 市広報誌、ホームページ等による防災意識の啓発</p> <p>..... 自主防災組織の防災訓練実施支援</p>
	<p>●身を守る意識の醸成、防災情報の啓発（津波対策）</p> <p>○防災マップ（ハザードマップ）を更新・発行し、津波浸水想定区域等や避難所等の周知啓発を行います。</p> <p>○「たつの防災ネット」や「ひょうご防災ネット（アプリ）」の登録を啓発・促進します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>..... 防災マップ（ハザードマップ）の更新・配布</p> <p>..... 「たつの防災ネット」「ひょうご防災ネット（アプリ）」登録の啓発</p>

	<p>●地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係機関、消防団、自主防災組織等と連携し防災訓練等を実施するとともに、地域における防災士等の育成や自主防災組織の活性化等を図ります。 ○防災上の地域課題を共有し、地域住民による自発的な防災活動を定める「地区防災計画」について、自主防災組織による作成を支援します。 ○自主防災組織による避難行動要支援者の把握と支援体制の充実を図るとともに、避難行動要支援者の的確な避難誘導等を進めるため、それぞれの要支援者のニーズに応じた個別支援計画の作成を支援します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....要配慮者避難体制の強化.....</p> <p>.....地区防災計画の作成支援.....</p> <p>.....避難行動要支援者の把握.....</p> <p>.....災害時マイプランの支援.....</p>																				
重要業績指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たつの防災ネット登録者数</td> <td>人</td> <td>8,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>ハザードマップの更新状況</td> <td>—</td> <td>更新</td> <td>更新</td> </tr> <tr> <td>地区防災計画作成件数</td> <td>件</td> <td>4</td> <td>19</td> </tr> <tr> <td>避難行動要支援者個票登録者数</td> <td>人</td> <td>3,045</td> <td>拡充</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	たつの防災ネット登録者数	人	8,000	10,000	ハザードマップの更新状況	—	更新	更新	地区防災計画作成件数	件	4	19	避難行動要支援者個票登録者数	人	3,045	拡充
指標名	単位	基準値	目標値																		
たつの防災ネット登録者数	人	8,000	10,000																		
ハザードマップの更新状況	—	更新	更新																		
地区防災計画作成件数	件	4	19																		
避難行動要支援者個票登録者数	人	3,045	拡充																		

<p>リスク シナリオ</p>	<p>1-3 台風や集中豪雨等大規模風水害による広域かつ長期的な市街地の浸水や大規模土砂災害等の発生、また暴風雪や雪害等による多数の死傷者の発生</p>
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●河川改修等の浸水対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関係機関と連携し、河床掘削、井堰改修等の河川改修を促進するとともに、幹線排水路等や普通河川などの整備を推進します。 ○総合治水の「ながす」「ためる」「そなえる」の考えのもと、地域一体で内水対策を推進します。 ○雨水ポンプ場を適切に維持管理するとともに、洪水時の適切な樋門操作・ポンプ操作の実施や事前防止行動により、浸水被害の軽減を図ります。 ○ため池、樋門等の農業用施設の整備、適正管理を推進し、洪水等による農業被害を防止します。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 基幹水利ストックマネジメント事業</p> <p>..... 河川に堆積した土砂の撤去</p> <p>..... 緊急浚渫事業</p> <p>..... 浸水対策事業</p> <hr/> <p>●急傾斜対策等の土砂災害対策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○兵庫県と連携して、砂防、地すべり防止、急傾斜地崩壊防止等の土砂災害防止施設の整備を促進します。 ○土砂災害警戒区域等において、治山事業等による山地災害防止対策や間伐等による森林の適正な管理・保全を進め、森林の多面的機能の維持を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 土砂災害対策の促進</p> <p>..... 急傾斜地崩壊対策事業</p> <p>..... 森林の多面的機能の維持</p> <hr/> <p>●防災体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難指示等の迅速な発令等に向け、水位監視体制の強化等を通じた発令体制の充実を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 災害対策本部防災会議システム運営事業</p> <p>..... 河川監視システム運営事業</p>

	<p>●防災情報の提供体制の整備</p> <p>○避難指示等の防災情報について、防災行政無線や市ホームページ、市SNS、たつの防災ネットなどを活用し、市民への積極的な広報を行います。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....防災行政無線（基地局）の更新.....</p> <p>.....多様な情報伝達手段による防災情報の発信.....</p>
	<p>●身を守る意識の醸成、防災情報の啓発（土砂災害対策）</p> <p>○土砂災害ハザードマップを更新・発行し、土砂災害警戒区域等や避難所等の周知啓発を行います。</p> <p>○「たつの防災ネット」や「ひょうご防災ネット（アプリ）」の登録を啓発・促進します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....防災マップ（ハザードマップ）の更新・配布.....</p> <p>.....「たつの防災ネット」「ひょうご防災ネット（アプリ）」登録の啓発.....</p>
	<p>●地域防災力の強化</p> <p>○関係機関、消防団、自主防災組織等と連携し防災訓練等を実施するとともに、地域における防災士等の育成や自主防災組織の活性化等を図ります。</p> <p>○防災上の地域課題を共有し、地域住民による自発的な防災活動を定める「地区防災計画」について、自主防災組織による作成を支援します。</p> <p>○自主防災組織による避難行動要支援者の把握と支援体制の充実を図るとともに、避難行動要支援者の的確な避難誘導等を進めるため、それぞれの要支援者のニーズに応じた個別支援計画の作成を支援します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....要配慮者避難体制の強化.....</p> <p>.....地区防災計画の作成支援.....</p> <p>.....避難行動要支援者の把握.....</p> <p>.....災害時マイプランの支援.....</p>

重要業績指標	指標名	単位	基準値	目標値
	砂防施設整備個所数	個所	1	5
	森林整備延べ面積	ha	484	611
	たつの防災ネット登録者数	人	8,000	10,000
	ハザードマップの更新状況	—	更新	更新
	地区防災計画作成件数	件	4	19
	避難行動要支援者個票登録者数	人	3,045	拡充

2 救助・救急、医療活動が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する

<p>リスク シナリオ</p>	<p>2-1 被災地での食料・飲料水等、生命に関わる物資供給の長期停止</p>
<p>推進 方針 ・ 主な 取組</p>	<p>●上水道の耐震化や応急給水体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○水道管の耐震化・長寿命化や配水池の耐震化等を進めるとともに、緊急時の連絡管路の整備を推進します。 ○運搬給水基地等における拠点給水、給水車等による運搬給水に必要な体制を確保します。 ○兵庫県内における水道災害相互応援協定や友好都市との災害時相互応援協定に基づく相互応援体制を確保します。 ○災害時の地域住民に井戸水を提供する災害時応急用井戸制度への登録を推進します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....水道施設の耐震化、新規整備及び更新事業の推進.....</p> <p>.....水道事業運営基盤強化推進事業の推進.....</p> <p>.....災害時応急用井戸登録制度の推進.....</p>
	<p>●食料、生活必需物資等の供給確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○兵庫県等と連携し、想定避難者数を踏まえた食料、生活必需物資等の備蓄を進めます。 ○大規模小売事業者等との協定締結や連携強化を図り、災害時の食料、生活必需物資等について、流通備蓄により確保します。 ○救援物資受入拠点の確保や受入手順、人員体制等の整備を進めるとともに、地域と連携した配送体制を構築します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....流通事業者との協定締結や連携強化.....</p> <p>.....備蓄物資の確保と収納スペースの検討.....</p>
	<p>●緊急輸送ルートの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模災害時における救命・救急活動や支援物資の輸送等を迅速に行うルートを確保するため、主要幹線道路の整備やネットワーク化、橋梁等の耐震化・長寿命化などを推進します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....広域幹線道路等の整備促進.....</p> <p>.....橋梁等の耐震化・長寿命化の推進.....</p>

重要業績指標	指標名	単位	基準値	目標値
	給水タンク配備数	台	3	3
	災害時応急用井戸登録数	件	22	25
	流通備蓄に関する協定等締結事業者数	事業者	5	8
	備蓄品目数(食料、生活必需物資等)	品目	14	15

リスクシナリオ	2-2 山間部において、多数かつ長期にわたり、孤立地域等が発生
推進方針・主な取組	<p>● 孤立地域との通信手段の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自主防災組織での備蓄や発電設備等の整備、地域における自主防災活動の強化などを図るため、非常時の通信手段を確保します。 ○ 非常時の通信手段を確保します。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 防災行政無線(基地局)の更新 衛星電話の配備
	<p>● 中山間地域等での地域防災力の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 防災上の地域課題を共有し、地域住民による自発的な防災活動を定める「地区防災計画」について、自主防災組織による作成を支援します。 ○ 関係機関、消防団、自主防災組織等と連携し防災訓練等を実施するとともに、地域における防災士等の育成や自主防災組織の活性化などを図ります。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地区防災計画の作成支援 自主防災組織の防災訓練実施支援

	<p>●緊急輸送ルートの確保</p> <p>○大規模災害時における救命・救急活動や支援物資の輸送等を迅速に行うルートを確認するため、主要幹線道路の整備やネットワーク化、橋梁等の耐震化・長寿命化などを推進します。</p> <p>○中山間地域等における集落の孤立を防止するため、迂回路となり得る農道・林道の適正管理を推進します。</p> <p>○孤立した地域での救助活動や物資輸送等を行うため、兵庫県や自衛隊と連携したヘリコプターの運用・活用を進めます。</p> <p>【主な取組】</p> <p>..... 広域幹線道路等の整備促進</p> <p>..... 橋梁等の耐震化・長寿命化の推進</p> <p>..... 農道・林道の適正管理の推進</p>																				
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重要業績指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災行政無線基地局更新状況</td> <td>—</td> <td>現状維持</td> <td>更新</td> </tr> <tr> <td>消防団員数</td> <td>人</td> <td>1,262</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>中山間地域での地区防災計画作成件数</td> <td>件</td> <td>0</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>道路橋長寿命化対策実施率</td> <td>%</td> <td>91.3</td> <td>97.0</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	防災行政無線基地局更新状況	—	現状維持	更新	消防団員数	人	1,262	1,500	中山間地域での地区防災計画作成件数	件	0	3	道路橋長寿命化対策実施率	%	91.3	97.0
指標名	単位	基準値	目標値																		
防災行政無線基地局更新状況	—	現状維持	更新																		
消防団員数	人	1,262	1,500																		
中山間地域での地区防災計画作成件数	件	0	3																		
道路橋長寿命化対策実施率	%	91.3	97.0																		

<p>リスク シナリオ</p>	<p>2-3 自衛隊、警察、消防、海保等の被災による救助・救急活動等の絶対的不足</p>
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●消防・救急体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○西はりま消防組合と連携し、救急車両、資機材等の更新・整備を進めるとともに、救急救命士の育成などにより消防・救急体制の向上を図ります。 ○大規模災害時における緊急消防援助隊、自衛隊などの受入拠点を確保するとともに、受入手順や体制等について検証、見直しを行います。 ○関係機関との情報共有や大規模災害時を想定した合同防災訓練の実施などにより、連携体制を強化します。 ○医師会と連携し、市内の医療機関の被災状況及び診療状況を把握するとともに、県広域災害・救急医療情報システムを活用し、県内の医療機関の状況把握を進めます。 ○救護所の設置が必要と判断した場合には、速やかに救護所を開設し、関係機関と連携して医療従事者の配置を調整します。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">西はりま消防組合負担金事業（救急車両・資機材等の更新・充実）関係機関との合同防災訓練の実施医療関係機関との連携体制の整備
	<p>●防災拠点におけるエネルギー供給の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市庁舎、消防署、病院等の防災拠点において、非常用電源設備の整備、維持管理を適切に行うとともに、非常時の燃料供給に係る協定等の締結により、非常用電源、緊急車両等に用いる燃料の確保を図ります。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">消防署非常用電源の適正管理の促進
	<p>●地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消防団員の加入促進や機能別消防団員制度の活用により団員確保を図るとともに、消防団車両・資機材等の更新・整備を進めます。 ○関係機関、消防団、自主防災組織等と連携し防災訓練等を実施するとともに、地域における防災士等の育成や自主防災組織の活性化などを図ります。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">消防団員の加入促進の検討防災訓練の実施

重要業績指標	指標名			
	単位	基準値	目標値	
	消防団員数	人	1,262	1,500
	県・市補助による自治会等の防犯カメラ設置台数	台	118	170
道路橋長寿命化対策実施率	%	91.3	97.0	

リスクシナリオ	2-4 想定を超える大量かつ長期の帰宅困難者の発生、混乱												
推進方針・主な取組	<p>●鉄道施設の安全性の確保</p> <p>○災害時における避難行動や救護活動・救援物資輸送、復旧活動などを支える重要な交通手段である鉄道施設について、安全性向上に資する設備の維持向上や長寿命化を促進します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....<u>利便性向上に向けた鉄道事業者への要望</u>.....</p>												
	<p>●道路啓開体制の整備</p> <p>○災害時の道路破損等に対応するため、復旧等に必要な資機材を整備するとともに、建設業協会等の関係機関との協力体制を確立します。</p> <p>○警察や国、県などの関係機関と連携した情報収集・共有体制を確立します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....<u>関係機関等との連携・協力体制の確立</u>.....</p>												
	<p>●食料、生活必需物資等の供給確保</p> <p>○市外からの通勤・通学者の被災・帰宅困難時に備え、職場や高等学校での備蓄を啓発・促進します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....<u>避難所の確保と環境改善の推進</u>.....</p>												
	<p>●身を守る意識の醸成、防災情報の啓発</p> <p>○市外からの通勤・通学者に対して、「たつの防災ネット」、「ひょうご防災ネット（アプリ）」の登録を啓発・促進するとともに、市内避難所、避難路の確認等の周知啓発を行います。</p> <p>○通勤先事業所等の所在地域における防災訓練に参加するように啓発を行います。</p> <p>○災害時に避難場所や徒歩帰宅者の休憩・情報提供等の場となる公園緑地を整備します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....<u>市広報誌、ホームページ等による防災意識の啓発</u>.....</p> <p>.....<u>公園緑地整備</u>.....</p>												
重要業績指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たつの防災ネット登録者数</td> <td>人</td> <td>8,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>指定避難所設置個所数</td> <td>個所</td> <td>49</td> <td>現状維持</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	たつの防災ネット登録者数	人	8,000	10,000	指定避難所設置個所数	個所	49	現状維持
指標名	単位	基準値	目標値										
たつの防災ネット登録者数	人	8,000	10,000										
指定避難所設置個所数	個所	49	現状維持										

<p>リスク シナリオ</p>	<p>2-5 医療・保健・福祉関係者の絶対的不足・被災、支援ルートの途絶、エネルギー供給の途絶による医療・保健・福祉機能の麻痺</p>
<p>推進 方針・ 主な 取組</p>	<p>●被災時の医療提供体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時の医療体制を確保するため、医師会等と連携して医療機関における災害対応マニュアル及び業務継続計画（BCP）の継続的な見直しを行います。 ○市内医療機関において、災害発生直後の急性期に救命救急活動が開始できるよう、市外から派遣されるDMATの受入体制を整備します。 ○大規模災害時に市内医療機関において医療従事者の確保を図るため、県医師会や三師会等と連携し、医療救護活動等の体制整備を進めます。 ○大規模災害などによる多数の負傷者の発生に対応するため、近隣の病院等との相互応援体制などを整備します。 ○県が運航するドクターヘリの安定的な運用に協力・連携し、救急医療体制の充実を図ります。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">医療機関の業務継続計画（BCP）策定に向けた啓発・支援.....三師会等との連携体制の強化.....災害医療コーディネーターを軸とした災害医療体制の充実強化.....
	<p>●防災拠点におけるエネルギー供給の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市庁舎、消防署、病院等の防災拠点において、非常用電源設備の整備、維持管理を適切に行うとともに、非常時の燃料供給に係る協定等の締結により、非常用電源、緊急車両等に用いる燃料の確保を図ります。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">非常用電源の適正管理の推進.....
	<p>●医療用物資の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○医療機関等において、医療用資機材・医薬品等の備蓄を進めるとともに、関係団体との災害時応援協定締結による円滑な供給体制の構築を推進します。 ○県と連携し、避難所や医療機関などで必要となる医薬品等を確保するとともに、支援物資の集配体制を整備し、迅速な供給に努めます。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">三師会等との連携体制の強化.....医療用資機材・医薬品等の備蓄.....

	<p>●緊急輸送ルートの確保</p> <p>○大規模災害時における救命・救急活動や支援物資の輸送等を迅速に行うルートを確認するため、主要幹線道路の整備やネットワーク化、橋梁等の耐震化・長寿命化などを推進します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....広域幹線道路等の整備促進.....</p> <p>.....橋梁等の耐震化・長寿命化の推進.....</p> <p>●地域防災力の強化</p> <p>○公共施設や地域におけるAED（自動体外式除細動器）の設置を推進するとともに、救命講習等の実施により市民への救命知識・技術の普及を図ります。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....AED設置への助成.....</p> <p>.....救命講習の実施及び実施支援.....</p>								
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重要業績指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th style="background-color: black; color: white;">指標名</th> <th style="background-color: black; color: white;">単位</th> <th style="background-color: black; color: white;">基準値</th> <th style="background-color: black; color: white;">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路橋長寿命化対策実施率</td> <td>%</td> <td>91.3</td> <td>97.0</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	道路橋長寿命化対策実施率	%	91.3	97.0
指標名	単位	基準値	目標値						
道路橋長寿命化対策実施率	%	91.3	97.0						

リスクシナリオ	2-6 被災地における疾病・感染症等の大規模発生								
推進方針・主な取組	<p>●感染症の発生・まん延の防止</p> <p>○災害時における感染症の発生・まん延を防止するため、平時から衛生的な手洗い、うがい等の生活習慣を推進するとともに、予防接種の接種率向上を図ります。</p> <p>○浸水被害等による感染症の発生予防等のため、兵庫県、消毒業者等の関係団体と連携し、消毒・害虫駆除等を行います。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....感染症予防の周知・啓発.....</p> <p>.....予防接種の実施・支援.....</p> <p>.....消毒・害虫駆除等の実施.....</p>								
	<p>●遺体安置・火葬体制等の整備</p> <p>○大量の遺体発生に伴う環境の悪化及びそれに起因する感染症等のまん延を防止するため、揖龍保健衛生施設事務組合及び播磨高原広域事務組合と連携して斎場の機能強化、適正管理を行います。</p> <p>○大規模災害の発生による市内又は都市部等での多数の死者の発生を想定し、揖龍保健衛生事務組合及び播磨高原広域事務組合と連携し、遺体安置・火葬の広域的な相互支援体制の構築を検討します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....揖龍保健衛生施設事務組合事業（広域斎場の運営）.....</p> <p>.....播磨高原広域事務組合事業（広域斎場の運営）.....</p>								
	<p>●下水道業務継続体制の整備</p> <p>○大規模災害時に下水道業務を継続するため、下水道施設の耐震化、耐水化及び長寿命化を推進するとともに、下水道事業業務継続計画（BCP）の見直し・充実や災害時を想定した訓練等を実施します。</p> <p>○災害時における停電・断水・給排水設備の損傷などに備え、避難所等の施設新設時にマンホールトイレの設置を進めます。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....下水道事業業務継続計画（BCP）の見直し・充実.....</p> <p>.....災害時を想定した訓練等の実施.....</p>								
重要業績指標	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>下水道事業業務継続計画（BCP）改訂状況</td> <td>—</td> <td>改訂</td> <td>改訂</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	下水道事業業務継続計画（BCP）改訂状況	—	改訂	改訂
指標名	単位	基準値	目標値						
下水道事業業務継続計画（BCP）改訂状況	—	改訂	改訂						

<p>リスク シナリオ</p>	<p>2-7 劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化、死者の発生</p>
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●避難所の機能強化、安全確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難所等の耐震化や長寿命化を推進するとともに、非構造部材の耐震化や非常用電源の確保などを進めます。 ○間仕切りの確保やトイレの洋式化、空調設備の整備など、要配慮者や女性などの視点を踏まえた避難所等の環境改善を進めます。 ○避難者に対して防災情報を効果的に伝達するため、避難所への映像設備等の導入など、情報提供体制の充実を図ります。 ○高齢者や障害者などの避難場所となる福祉避難所の確保、機能維持を図るとともに、運営事業者との連携強化を図ります。 ○災害時に避難所や物流拠点となり得る道の駅において、防災面でも有効な非常用電源の確保、防災用トイレの設置など、防災機能の強化を進めます。 ○避難所等の非常用電源を確保するため、公共施設等の新設・大規模改修時に太陽光発電システム等の導入を検討します。 ○ペットの飼い主に対し、災害時の適正飼育や災害への備え等に関する普及啓発を行います。 <p>【主な取組】</p> <p>.....避難所の確保と環境改善の推進.....</p> <p>.....福祉避難所運営事業者との連携強化.....</p> <p>.....人と動物の共生事業.....</p>
	<p>●避難所運営体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難所運営の長期化に備え、自主防災組織等と連携した避難所運営を検討します。 ○保健師、栄養士等が避難所を巡回する健康相談や栄養相談を県等と連携して実施するとともに、支援が必要な人には、医療機関やこころのケアチーム等と連携して支援します。 ○避難所において認知症の症状が悪化する等の二次被害を防ぐため、認知症サポーター養成講座等を活用しながら、認知症に対する正しい知識の普及・啓発を行います。 <p>【主な取組】</p> <p>.....避難所生活の長期化を想定した運営体制の検討.....</p> <p>.....保健体制・避難所運営マニュアル等の検討.....</p> <p>.....認知症予防普及啓発事業.....</p>

重要業績指標	指標名				単位	基準値	目標値
	指定避難所設置個所数	個所	49	現状維持			
	避難所運営マニュアル改訂状況	—	改訂	改訂			
	認知症サポーター養成講座受講者数	人	10,000	13,000			

3 必要不可欠な行政機能は確保する

<p>リスク シナリオ</p>	<p>3-1 行政機関の職員・施設等の行政機能の大幅な低下</p>
<p>推進 方針 ・ 主な 取組</p>	<p>●市庁舎の防災機能の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○施設整備の際は、自然環境の持つ防災・減災等の機能を活かす「グリーンインフラ」として効果が発揮されるよう取組を推進します。 ○災害対応等を定めた地域防災計画等の見直しを行うとともに、職員を対象とした実践的な訓練、研修等を行うことで、災害対応力の向上を図ります。 ○災害等に発生する状況を想定し防災行動の迅速化を図るため、タイムライン（防災行動計画）を作成し、活用します。 ○災害時の迅速な初動対応を図るため、職員の参集方法等の把握や参集訓練などを随時実施します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....たつの市地球温暖化対策実行計画推進事業.....</p> <p>.....職員研修事業.....</p>
	<p>●行政の業務継続体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模災害時における業務継続体制を確保するため、市の業務継続計画（BCP）を継続的に見直し、実効性の向上を図ります。 ○市のネットワークにおける障害や災害等による業務停止を防止するため、機器・通信回線等の冗長化や情報システムのクラウド化、遠隔地でのバックアップ等を実施します。 ○市職員が不足する場合を想定し、他自治体からの応援職員を受け入れる際の受援計画の策定を進めます。 <p>【主な取組】</p> <p>.....市の業務継続計画（BCP）の策定・見直し.....</p> <p>.....災害時受援計画の策定.....</p>
	<p>●防災拠点における情報通信設備等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国瞬時情報システム（Jアラート）や防災行政無線など、情報伝達手段の多重化を図るとともに、民間通信回線遮断時に備え、通信事業者との連絡体制を確保します。 ○防災行政無線設備の更新・整備を進めます。 <p>【主な取組】</p> <p>.....防災行政無線設備等の適正な管理・運営.....</p>

	<p>●防災拠点におけるエネルギー供給の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害活動用の保安電源を供給するため、庁舎屋上の非常用発電機を活用するとともに、エネルギーの供給体制を整備します。 ○非常時の燃料供給に係る協定等の締結により、非常用電源、緊急車両等に用いる燃料の確保を図ります。 <p>●広域的な相互応援体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○県・県内市町との災害時応援協定や友好都市との災害時相互応援協定に基づき、広域的な相互応援体制の強化を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>.....関係自治体との災害時相互応援体制の強化・実施.....</p>								
重要業績指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #333; color: white;"> <th style="text-align: center;">指標名</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">基準値</th> <th style="text-align: center;">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">防災行政無線基地局更新状況</td> <td style="text-align: center;">—</td> <td style="text-align: center;">現状維持</td> <td style="text-align: center;">更新</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	防災行政無線基地局更新状況	—	現状維持	更新
指標名	単位	基準値	目標値						
防災行政無線基地局更新状況	—	現状維持	更新						

4 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する

<p>リスクシナリオ</p>	<p>4-1 防災・災害対応に必要な通信インフラの麻痺・機能停止</p>																
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●防災情報の提供体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難指示等の防災情報について、防災行政無線や市ホームページ、市SNS、たつの防災ネットなどを活用し、市民への積極的な広報を行います。 ○電力、通信、交通網等の途絶に対応するため、防災行政無線、広報車、衛星電話の活用など、情報伝達手段の多重化を推進します。 ○インターネットを通じて情報を得られない高齢者等に防災情報を伝達する手段として、防災行政無線の戸別受信機の活用を検討します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....多様な情報伝達手段による防災情報の発信.....</p> <p>.....防災行政無線（基地局）の更新.....</p> <p>●情報通信設備の機能確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○情報通信事業者との情報伝達・共有体制の構築を図るとともに、情報通信施設・設備の耐震化や回線の冗長化など、事前対策の実施を要請します。 ○大規模災害時において、臨時携帯電話基地局や特設公衆電話などの活用を進めるとともに、資材整備、人員確保等の迅速な復旧体制の整備を要請します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....情報通信事業者との連携体制の強化.....</p> <p>●防災情報の提供体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○避難指示等の防災情報について、防災行政無線や市ホームページ、市SNSなど多様な伝達手段を活用し、市民への積極的な広報を行います。 ○電力、通信、交通網等の途絶に対応するため、広報車、防災行政無線、衛星電話・通信の活用など、情報伝達手段の多重化を推進します。 																
<p>重要業績指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>たつの防災ネット登録者数</td> <td>人</td> <td>8,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>ひょうご防災ネットアプリ利用者数</td> <td>人</td> <td>8,000</td> <td>10,000</td> </tr> <tr> <td>防災行政無線基地局更新状況</td> <td>—</td> <td>現状維持</td> <td>更新</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	たつの防災ネット登録者数	人	8,000	10,000	ひょうご防災ネットアプリ利用者数	人	8,000	10,000	防災行政無線基地局更新状況	—	現状維持	更新
指標名	単位	基準値	目標値														
たつの防災ネット登録者数	人	8,000	10,000														
ひょうご防災ネットアプリ利用者数	人	8,000	10,000														
防災行政無線基地局更新状況	—	現状維持	更新														

<p>リスク シナリオ</p>	<p>4-2 災害時に活用する情報サービスが機能停止し、情報の収集・伝達ができず、避難行動や救助・支援が遅れる事態</p>
	<p>●身を守る意識の醸成、防災情報の啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○土砂災害ハザードマップを更新・発行し、土砂災害警戒区域、津波浸水想定区域や避難所等の周知啓発を行います。 ○「たつの防災ネット」や「ひょうご防災ネット（アプリ）」の登録を啓発・促進します。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 防災マップ（ハザードマップ）の更新・配布</p> <p>..... 「たつの防災ネット」「ひょうご防災ネット（アプリ）」登録の啓発</p> <p>●要配慮者等の特性に応じた支援体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○高齢者、障害者、外国人など、要配慮者の特性に応じた防災情報の提供体制の構築を進めます。 ○浸水想定区域内、土砂災害警戒区域内にある要配慮者利用施設における避難確保計画の作成や避難訓練の実施等について、指導・助言を行います。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 避難確保計画作成に向けた指導・助言</p> <p>..... 多言語版ひょうご防災ネットの活用促進</p> <p>●地域防災力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織による避難行動要支援者の把握と支援体制の充実を図るとともに、避難行動要支援者の的確な避難誘導等を進めるため、それぞれの要支援者のニーズに応じた個別支援計画の作成を支援します。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 要配慮者避難体制の強化</p> <p>..... 避難行動要支援者の把握</p> <p>..... 災害時マイプランの支援</p> <p>●防災体制の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消防、警察などの関係機関との情報共有体制を構築するとともに、電力、通信、交通網等の途絶に備え、情報伝達手段の多重化を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 関係機関との情報共有体制の強化</p>

重要業績指標	指標名	単位	基準値	目標値
	たつの防災ネット登録者数	人	8,000	10,000
	ひょうご防災ネットアプリ利用者数	人	8,000	10,000
	ハザードマップの更新状況	—	更新	更新
	地区防災計画作成件数	件	4	19
	避難行動要支援者個票登録者数	人	3,045	拡充
	避難確保計画作成割合	%	70.0	100.0

5 経済活動を機能不全に陥らせない

<p>リスクシナリオ</p>	<p>5-1 サプライチェーンの寸断やエネルギー供給の停止等による経済活動の低下</p>
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●事業者の業務継続体制の整備</p> <p>○農業や漁業におけるサプライチェーンの寸断を防ぐため、流通の中心となる農業協同組合や漁業協同組合と連携し、防災対策を促進します。</p> <p>○大規模災害時において、被害の軽減や事業の継続・早期復旧を図るため、商工会議所や金融機関等と連携し、事業活動の早期再開に向けた相談や金融支援を行います。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....水産業振興事業、水産物供給基盤保全事業.....</p> <p>.....商工会議所・商工会の事業継続計画（BCP）の策定支援.....</p> <p>.....市内事業者の事業継続計画（BCP）の策定に向けた啓発・支援.....</p> <p>●企業・事業所の都市偏在の是正</p> <p>○災害に備えた経済活動のリスク分散やサプライチェーンの複線化のため、本市の地理的特性などを生かした新産業の創出や企業誘致を推進します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....企業誘致の推進.....</p> <p>.....地域特性を生かした企業立地の支援.....</p>

<p>リスクシナリオ</p>	<p>5-2 金融サービス等の機能停止による国民生活・商取引への甚大な影響</p>
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●金融サービス等の機能確保</p> <p>○大規模災害時の金融サービス等の機能を維持・確保するため、兵庫県などと連携し、金融機関の事業継続計画（BCP）等の更新・充実を促進するとともに、金融機関における事業継続の取組を支援します。</p> <p>○市内の金融機関に対し、想定される災害リスクや事業継続計画（BCP）の必要性についての情報提供を行ないます。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....金融機関との連絡体制の強化.....</p>

リスクシナリオ	5-3 食料等の安定供給の停滞や物流機能等の大幅な低下												
推進方針・主な取組	<p>●食料等の供給確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○兵庫県と連携し、想定避難者数を踏まえた食料等の備蓄を進めます。 ○大規模小売業者等との協定締結や連携強化を図り、災害時の食料等について流通備蓄により確保します。 ○救援物資受入拠点の確保や受入手順、人員体制等の整備を進めるとともに、地域と連携した配送体制を構築します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....流通事業者との協定締結や連携強化.....</p> <p>.....備蓄物資の精査と確保.....</p> <p>●食料等の安定供給体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地元農産物の付加価値の向上や市内流通の促進を通じ、平常時から地産地消を推進することにより、災害時における食料等の安定供給を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>.....地産地消の推進.....</p>												
重要業績指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #333; color: white;"> <th style="text-align: center;">指標名</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">基準値</th> <th style="text-align: center;">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>流通備蓄に関する協定等締結事業者数</td> <td style="text-align: center;">事業者</td> <td style="text-align: center;">5</td> <td style="text-align: center;">8</td> </tr> <tr> <td>備蓄品目数（食料、生活必需物資等）</td> <td style="text-align: center;">品目</td> <td style="text-align: center;">14</td> <td style="text-align: center;">15</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	流通備蓄に関する協定等締結事業者数	事業者	5	8	備蓄品目数（食料、生活必需物資等）	品目	14	15
指標名	単位	基準値	目標値										
流通備蓄に関する協定等締結事業者数	事業者	5	8										
備蓄品目数（食料、生活必需物資等）	品目	14	15										

6 ライフライン、燃料供給関連施設、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる

<p>リスクシナリオ</p>	<p>6-1 ライフライン（電気、ガス、上下水道、通信等）の長期間にわたる機能停止</p>
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●上水道の耐震化や応急給水体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○運搬給水基地等における拠点給水、給水車等による運搬給水に必要な体制を確保します ○兵庫県内における水道災害相互応援協定や友好都市との災害時相互応援協定に基づく相互応援体制を確保します。 ○災害時の地域住民に井戸水を提供する災害時応急用井戸制度への登録を推進します。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 関係自治体との災害時相互応援体制の強化・実施</p> <p>..... 上水道老朽管更新事業</p> <p>..... 災害時応急用井戸登録制度の推進</p>
	<p>●下水道施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○下水道施設の耐震化・耐水化・長寿命化を推進します。 ○下水道事業業務継続計画（BCP）を適宜見直し内容の充実を図るとともに、災害時を想定した訓練等を実施します。 ○災害時における停電・断水・給排水設備の損傷などに備え、避難所等の施設新設時にマンホールトイレの設置を進めます。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 下水道施設の長寿命化の推進</p>
	<p>●エネルギーの供給体制の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○エネルギー関係事業者との情報伝達・共有体制の構築を図るとともに、エネルギー関連施設・設備の耐震化や老朽化対策などの事前対策と資材整備、人員確保等の迅速な復旧体制の整備を要請します。 <p>【主な取組】</p> <p>..... エネルギー関係事業者との連絡体制の強化</p>

	<p>●自立・分散型エネルギーの導入促進</p> <p>○自立・分散型の電源を確保し、エネルギー供給を多様化するため、太陽光発電システムや蓄電池の導入などを支援します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....家庭用創エネ省エネ設備等の導入促進・支援.....</p> <p>.....再生可能エネルギー等利用システム推進事業.....</p>																
<p>重要業績指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>災害時応急用井戸登録数</td> <td>件</td> <td>22</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>下水道事業業務継続計画 (BCP) 改訂状況</td> <td>—</td> <td>改訂</td> <td>改訂</td> </tr> <tr> <td>太陽光発電システム総容量 (一般家庭)</td> <td>Kw</td> <td>9,490</td> <td>11,360</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	災害時応急用井戸登録数	件	22	25	下水道事業業務継続計画 (BCP) 改訂状況	—	改訂	改訂	太陽光発電システム総容量 (一般家庭)	Kw	9,490	11,360
指標名	単位	基準値	目標値														
災害時応急用井戸登録数	件	22	25														
下水道事業業務継続計画 (BCP) 改訂状況	—	改訂	改訂														
太陽光発電システム総容量 (一般家庭)	Kw	9,490	11,360														

<p>リスクシナリオ</p>	<p>6-2 汚水処理施設等の長期間にわたる機能停止</p>
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●災害時の適切なし尿処理体制の確保</p> <p>○大規模災害の被害から迅速な復旧が図れるよう、関係機関と連携して、下水道事業業務継続計画(BCP)に基づき、管理機関間の相互連携や代替性の確保等、継続して施設等を稼働させるための体制整備を促進します。</p> <p>○大規模災害に備えて、ストックマネジメント計画に基づき下水道施設等の老朽化対策を順次行うとともに、大雨時の内水排除や応急対応に必要な防災体制の整備を推進します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....下水道事業業務継続計画(BCP).....</p> <p>.....日本下水道事業団との災害支援協定締結.....</p> <p>.....関係機関との連携・協力体制の確立.....</p> <p>●広域的な相互応援体制の確保</p> <p>○県・県内市町との災害時応援協定や友好都市との災害時相互応援協定に基づき、広域的な相互応援体制の強化を図ります。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....関係自治体との災害時相互応援体制の強化・実施.....</p>

<p>リスク シナリオ</p>	<p>6-3 基幹的な地域交通ネットワークの長期間にわたる機能停止</p>
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>● 広域幹線道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 平常時・災害時を問わず安定的な輸送ルートを確保し、物流生産性の向上と命をつなぐ道路ネットワークの強化を図るため、国や県、近隣自治体と連携した取組を推進します。 ○ 陸路の断絶による地域全体の孤立を防止するため、近隣市町と連携し、緊急時の輸送路としての機能を有する広域幹線道路の整備を促進します。 ○ 防災拠点となる市庁舎及び医療機関等と市街地を接続する道路について、兵庫県と連携して道路拡幅、歩道整備等を推進します。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 広域幹線道路の整備促進</p> <p>..... 国土交通省等への要望活動</p>
	<p>● 地域幹線道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 広域幹線道路を補完し、地域間を連絡する地域幹線道路について、兵庫県と連携し、道路拡幅・交差点改良、歩道整備などを推進します。 ○ 中心市街地の交通機能を強化するとともに、延焼遮断帯としての機能を果たす地域幹線道路について、県と連携しながら事業化に向けて取り組めます。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 地域幹線道路の整備促進</p> <p>..... 宅地防災パトロール事業</p> <p>..... 市街地周辺道路の整備促進</p>
	<p>● 地域幹線道路を補完する道路の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 市道等も整備を推進し、道路ネットワークの多重化を図るとともに、道路照明等の道路施設の定期点検や舗装等の修繕、街路樹等の適正管理を進めます。 ○ 通学路の合同点検結果や通学路交通安全プログラムに基づいた安全対策を推進し、安全で安心な道路交通環境を整えます。 <p>【主な取組】</p> <p>..... 道路補修事業</p> <p>..... 通学路の交通安全の推進</p>

	<p>●中山間地域等における緊急輸送ルートの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○中山間地域等における集落の孤立を防止するため、う回路となり得る農道・林道の適正管理を推進します。 ○孤立した地域での救助活動や物資輸送等を行うため、兵庫県や自衛隊と連携したヘリコプターの運用・活用を進めます。 <p>【主な取組】</p> <p>.....農道・林道の適正管理の推進.....</p> <p>●交通施設、沿道・沿線建築物の安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○橋梁、横断歩道等の道路構造物について、兵庫県と連携し、定期的な点検を行うとともに、点検結果に基づく長寿命化修繕計画により、計画的な修繕や架け替えを行い、安全な交通機能確保を図ります。 ○通学路等における危険ブロック塀の撤去を促進します。 ○沿道・沿線等における危険空き家等の除却等、適正管理・流通促進の啓発を行うとともに、建築物の耐震化等を促進します。 ○災害時の混乱に伴う重大交通事故を防止するため、ガードレール、カーブミラー等の交通安全施設の整備を推進します。 ○道路照明等の道路施設の定期点検や舗装等の修繕、街路樹等の適正管理を進めます。 <p>【主な取組】</p> <p>.....橋梁等の耐震化・長寿命化の推進.....</p> <p>.....歩道橋の長寿命化対策の推進.....</p> <p>.....空き家対策総合推進事業.....</p> <p>.....道路ストック総点検事業（道路構築物・舗装）.....</p> <p>.....交通安全施設等の整備.....</p> <p>●鉄道施設の安全性の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害時における避難行動や救護活動・救援物資輸送、復旧活動などを支える重要な交通手段である鉄道施設について、安全性向上に資する設備の維持向上や長寿命化を促進します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....利便性向上に向けた鉄道事業者への要望.....</p>
--	--

	<p>●道路啓開体制の整備</p> <p>○災害時の道路破損等に対応するため、復旧等に必要な資機材を整備するとともに、建設業組合その他の関係機関との協力体制を確立します。</p> <p>○警察や国、県などの関係機関と連携した情報収集・共有体制を確立します。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....関係機関等との連携・協力体制の確立.....</p>																
<p style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">重要業績指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>道路橋長寿命化対策実施率</td> <td>%</td> <td>91.3</td> <td>97.0</td> </tr> <tr> <td>通学路交通安全対策 (グリーンベルト整備)</td> <td>km</td> <td>5.8</td> <td>10.0</td> </tr> <tr> <td>道路整備事業実施路線延長</td> <td>km</td> <td>1.0</td> <td>1.6</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	道路橋長寿命化対策実施率	%	91.3	97.0	通学路交通安全対策 (グリーンベルト整備)	km	5.8	10.0	道路整備事業実施路線延長	km	1.0	1.6
指標名	単位	基準値	目標値														
道路橋長寿命化対策実施率	%	91.3	97.0														
通学路交通安全対策 (グリーンベルト整備)	km	5.8	10.0														
道路整備事業実施路線延長	km	1.0	1.6														

7 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない

<p>リスク シナリオ</p>	<p>7-1 市街地火災、海上・臨海部の広域複合災害、建物倒壊による交通麻痺等の大規模な二次災害の発生</p>
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●市民等による出火防止対策の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消火栓や防火水槽の整備など、安定した消防水利の確保を図るとともに、西はりま消防組合と連携し、消防車両・消防資機材の更新・充実などによる消防力の向上を進めます。 ○消防職員の資質向上を目的とした火災予防査察業務等を実施するとともに、自衛消防隊等との訓練を実施し、防災・減災対策の充実強化を図ります。 ○災害時の火災に備え、消防資機材や消防車両、耐震性貯水槽等を整備します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....自主防災組織推進対策事業.....</p> <p>.....西はりま消防組合負担金事業（消防車両・資機材等の更新・充実）.....</p> <p>.....消火栓の保守点検.....</p>
	<p>●出火防止・初期消火体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一般家庭に対し、住宅用火災警報器や感震ブレーカーの設置、防災製品の導入等の普及啓発を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>.....市広報誌・防災行政無線等を通じた火災予防の啓発.....</p> <p>.....西はりま消防組合と連携した適正な防火管理の推進.....</p>
	<p>●危険区域への迅速な立入制限の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模災害後において、余震や降雨等による土砂災害等のリスクが高まっている区域を速やかに把握、市民に周知するとともに、当該区域への立入を制限・注意喚起します。 ○被災建築物応急危険度判定を速やかに実施し、余震等による倒壊などの危険性がある建築物への立入を制限・注意喚起するとともに、当該判定の仕組みについて市民に周知啓発します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....被災建築物応急危険度判定士の確保・育成.....</p>

	<p>●迅速な航路啓開に向けた体制の整備</p> <p>○災害時に海上輸送拠点となる港湾において、大規模地震や津波が発生した場合にも使用できる耐震強化岸壁や緑地の整備を着実に進めます。</p> <p>【主な取組】</p> <p>.....岩見漁港管理運営事業、室津漁港管理運営事業.....</p> <p>.....岩見漁港自然災害対策事業.....</p> <p>.....海岸堤防等老朽化対策事業.....</p>																
<p>重要業績指標</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: black; color: white;"> <th style="text-align: center;">指標名</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">基準値</th> <th style="text-align: center;">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>自主防災組織数</td> <td style="text-align: center;">件</td> <td style="text-align: center;">210</td> <td style="text-align: center;">現状維持</td> </tr> <tr> <td>消防団員数</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">1,262</td> <td style="text-align: center;">1,500</td> </tr> <tr> <td>被災建築物応急危険度判定士登録数</td> <td style="text-align: center;">人</td> <td style="text-align: center;">32</td> <td style="text-align: center;">42</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	自主防災組織数	件	210	現状維持	消防団員数	人	1,262	1,500	被災建築物応急危険度判定士登録数	人	32	42
指標名	単位	基準値	目標値														
自主防災組織数	件	210	現状維持														
消防団員数	人	1,262	1,500														
被災建築物応急危険度判定士登録数	人	32	42														

<p>リスクシナリオ</p>	<p>7-2 ため池、防災インフラ等の損壊・機能不全や堆積した土砂等の流出による多数の死傷者の発生</p>								
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>● ため池の耐震化や平時からの適正管理の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ ため池の点検や事前放流などの適正管理を促進するとともに、耐震診断等を実施し、必要に応じて耐震化や長寿命化などを行います。 ○ ため池決壊時の浸水想定や円滑な避難を確保するため、ため池マップ等を作成し、公開・啓発します。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農村地域防災・減災事業 ため池定期点検の実施 ため池耐震化等改修工事の促進・支援 ため池マップ等の作成 <p>● ポンプ場の平時からの適正管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 雨水ポンプ場の老朽化による能力の低下や故障の発生を防止するため、適正に予防保全対策を行うとともに、耐震・排水機能の診断を行い、計画的な耐震化、改修等を行います。 ○ 浸水や電力供給停止などによる雨水ポンプ場の機能停止を防止するため、浸水対策や非常用電源の確保などを進めます。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none"> 雨水ポンプ場の適正管理の推進 								
<p>重要業績指標</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: black; color: white;"> <th style="text-align: center;">指標名</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">基準値</th> <th style="text-align: center;">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ため池耐震化等改修工事実施個所数</td> <td style="text-align: center;">個所</td> <td style="text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">9</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	ため池耐震化等改修工事実施個所数	個所	2	9
指標名	単位	基準値	目標値						
ため池耐震化等改修工事実施個所数	個所	2	9						

<p>リスク シナリオ</p>	<p>7-3 有害物質の大規模拡散・流出</p>
<p>推進方針・ 主な取組</p>	<p>●有害物質の漏えい対策の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○兵庫県と連携し、大規模災害時の不測の事態を備えた防災訓練の実施、防除設備の強化など、有害物質の使用事業者による漏えい対策を促進するとともに、有害物質の適正管理の啓発・指導を行います。 ○大規模災害時の火災の出火防止や危険物流出事故防止のため、西はりま消防組合と連携して、危険物施設の適正管理を促す啓発・指導を進めます。 ○地震発生時の建物倒壊等により発生する可能性がある石綿、有害物質の周辺環境への拡散を防止するため、県による有害物質対策と連携協力し、拡散防止を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>.....有害物質の適正管理推進に係る関係機関との連携.....</p> <p>.....揖保川水質汚濁防止協議会.....</p>
	<p>●有害物質の適正管理の指導・啓発</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平時からの事業者の有する有害物質の保管状況等の把握と適切な指導を行うほか、防災資機材及び事故発生を想定したマニュアルの整備を働きかけます。

リスクシナリオ	7-4 農地、森林等の被害												
推進方針・主な取組	<p>●農業生産基盤等の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平常時から安定的に食料等の供給を行うため、老朽化した農業水利施設等の点検・整備や保全管理を進めるとともに、農業用施設整備等により農地の生産性向上を図ります。 ○農地へのアクセス性や生産性の向上を図るため、農道の適正管理などを進めます。 ○営農意欲の低下や耕作放棄などの要因となる有害鳥獣被害を防止するため、有害鳥獣の侵入防止や捕獲などの有害鳥獣対策を推進します。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">農業水利施設等の保全管理等の推進農業水路等長寿命化・防災減災事業有害鳥獣の捕獲、鳥獣防護柵の整備野生動物共生林事業（県民緑税事業） 												
	<p>●森林の多面的機能発揮の促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○森林の適正な管理・保全を図るため、地形・植生状況等や保全対象を評価し、森林整備等山地災害防止対策を着実に進めます。 ○森林の整備にあたっては、鳥獣害対策を徹底したうえで、地域に根差した植生の活用等、自然と共生した多様な森林づくりを推進します。 ○森林が有する多面的機能を維持するため、地域コミュニティ等と連携して、森林保全活動や森林環境教育を推進します。 <p>【主な取組】</p> <ul style="list-style-type: none">環境保全活動推進事業、有害鳥獣の捕獲多面的機能支払交付金事業県単独補助治山事業、環境対策森林整備事業里山防災林整備事業（県民緑税事業） 												
重要業績指標	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr style="background-color: #333; color: white;"> <th style="text-align: center;">指標名</th> <th style="text-align: center;">単位</th> <th style="text-align: center;">基準値</th> <th style="text-align: center;">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鳥獣防護柵設置総延長</td> <td style="text-align: center;">km</td> <td style="text-align: center;">155.038</td> <td style="text-align: center;">177.907</td> </tr> <tr> <td>森林整備延べ面積</td> <td style="text-align: center;">ha</td> <td style="text-align: center;">484</td> <td style="text-align: center;">611</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	鳥獣防護柵設置総延長	km	155.038	177.907	森林整備延べ面積	ha	484	611
指標名	単位	基準値	目標値										
鳥獣防護柵設置総延長	km	155.038	177.907										
森林整備延べ面積	ha	484	611										

8 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

<p>リスク シナリオ</p>	<p>8-1 災害廃棄物の処理の停滞等による復興の大幅な遅れ</p>																
<p>推進方針・主な取組</p>	<p>●災害廃棄物処理施設の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○大規模災害発生時の廃棄物処理について定める災害廃棄物処理計画を策定します。 ○災害時の廃棄物を速やかに処理するため、廃棄物処理関係団体等と、災害時における廃棄物処理の協力に関する協定の締結を推進します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....災害廃棄物処理計画の策定.....</p>																
	<p>●災害廃棄物処理体制の多重化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○広域的な大規模災害の発生も念頭に、県、近隣自治体、関係団体、民間企業などとの連携体制を構築し、災害廃棄物処理の多重化を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>.....揖龍保健衛生施設事務組合負担金事業.....</p> <p>.....にしはりま環境事務組合負担金事業.....</p>																
	<p>●災害廃棄物の仮置場等の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建築物の浸水や倒壊等による大量の災害廃棄物の発生に対応するため、災害廃棄物を仮置きするためのストックヤード及び搬入経路を確保します。 ○災害廃棄物等を処理できる残余能力を確保するため、平時からごみの減量・分別を推進します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....災害廃棄物処理マニュアルの作成.....</p> <p>.....広域ごみ処理事業.....</p> <p>.....ごみ減量化の推進.....</p>																
<p>重要業績指標</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1人1日あたりごみ排出量</td> <td>g</td> <td>595</td> <td>585</td> </tr> <tr> <td>災害廃棄物仮置き場候補地面積</td> <td>ha</td> <td>3.5</td> <td>4.5</td> </tr> <tr> <td>災害廃棄物処理計画策定事業</td> <td>—</td> <td>未策定</td> <td>策定</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	1人1日あたりごみ排出量	g	595	585	災害廃棄物仮置き場候補地面積	ha	3.5	4.5	災害廃棄物処理計画策定事業	—	未策定	策定
指標名	単位	基準値	目標値														
1人1日あたりごみ排出量	g	595	585														
災害廃棄物仮置き場候補地面積	ha	3.5	4.5														
災害廃棄物処理計画策定事業	—	未策定	策定														

<p>リスク シナリオ</p>	<p>8-2 人材不足、より良い復興に向けたビジョンの欠如、地域コミュニティの崩壊等により復興できなくなる事態</p>
<p>推進 方針・ 主な 取組</p>	<p>●復旧・復興を担う人材の育成・確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ○建築物の被害状況などを調査する家屋被害認定士や被災建築物応急危険度判定士等の確保・育成に努めます。 ○災害対応の知識や経験を持つ兵庫県・市町職員に派遣する「ひょうご市外緊急支援隊」などの支援者の受入体制を整備します。 ○道路啓開等の人材として期待される建設業等への就業を促進するため、労働環境の改善等の取組を支援します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....家屋被害認定士講習会への職員派遣.....</p> <p>.....被災建築物応急危険度判定士講習会への職員派遣.....</p> <p>.....災害時受援計画の策定.....</p>
	<p>●地域でのコミュニティの維持・活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ○自主防災組織や消防団等を中心に地域住民や学校、事業所等が協力して防災訓練を実施することにより、防災分野における地域コミュニティの活性化を図ります。 ○市民活動団体等と顔の見える関係性を構築するため、研修会等の実施や団体相互の交流促進及びネットワーク化の推進を図ります。 ○円滑かつ迅速な復興を図るため、他市町の動向を見極めつつ事前の復興方針の策定等について検討します。 ○地域の担い手として必要な人材確保のため、地域外からの移住を促進します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....自主防災組織の防災訓練実施支援.....</p> <p>.....定住促進住宅取得支援事業.....</p>
	<p>●災害ボランティアの受入体制の整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社会福祉協議会が開設する災害ボランティアセンターの運営を支援し、災害ボランティアの円滑な受入れを促進します。 ○迅速かつ適切なボランティア活動を促進するため、社会福祉協議会による災害ボランティアや災害ボランティアコーディネーターの養成を支援します。 <p>【主な取組】</p> <p>.....災害ボランティア養成講座の開催.....</p> <p>.....災害ボランティアコーディネーターの養成・確保.....</p> <p>.....災害ボランティアセンター設置訓練.....</p>

重要業績指標	指標名	単位	基準値	目標値
	家屋被害認定士登録数	人	34	43
	被災建築物応急危険度判定士登録数	人	32	42
	災害時受援計画・マニュアル策定状況	—	策定	改訂

リスクシナリオ	8-3 事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備遅延や長期浸水の発生等による復興の大幅な遅れ												
推進方針・主な取組	<p>●被災者の住宅対策の事前検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あらかじめ、仮設住宅の建設予定地を選定する等の事前準備を進めます。 ○災害後の円滑な復旧復興を確保するため、地籍調査等を推進し、土地境界等を明確化します。 ○地震保険は、被害者の生活安定に寄与することを目的とした、政府が再保険を引き受ける保険制度で、被災者の生活再建にとって有効な手段の一つであることから、出前講座等で加入の啓発を図ります。 <p>【主な取組】</p> <p>.....地籍調査事業.....</p> <p>.....フェニックス共済制度への加入啓発.....</p>												
重要業績指標	<table border="1"> <tr> <th>指標名</th> <th>単位</th> <th>基準値</th> <th>目標値</th> </tr> <tr> <td>地籍調査進捗率 (市街化区域対象)</td> <td>%</td> <td>42.3</td> <td>51.1</td> </tr> <tr> <td>フェニックス共済制度加入者数</td> <td>人</td> <td>5,000</td> <td>現状維持</td> </tr> </table>	指標名	単位	基準値	目標値	地籍調査進捗率 (市街化区域対象)	%	42.3	51.1	フェニックス共済制度加入者数	人	5,000	現状維持
指標名	単位	基準値	目標値										
地籍調査進捗率 (市街化区域対象)	%	42.3	51.1										
フェニックス共済制度加入者数	人	5,000	現状維持										

リスクシナリオ	8-4 風評被害や信用不安、生産力の回復遅れ、大量の失業・倒産等による地域経済等への甚大な影響
推進方針・主な取組	<p>●正確な情報収集・情報発信の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ○災害発生時における地理的な誤認識や消費者の過剰反応等の風評被害等を防ぐため、関係機関等から正確な情報の収集に努めるとともに、必要な情報を適切な媒体により、迅速かつ的確に発信します。